

幼保一体化について

一般質問



深田 真史 議員

(加西の新しい未来を創る政策研究会)

問 加西市の幼保一体化計画について。

答 平成 29 年 4 月に別府・九会両幼児園を統合し、加西こども園を開園。平成 30 年 4 月に北条幼稚園と北条西保育所を統合、(仮称)北条西こども園が開園予定です。泉地区でも協議会を立ち上げ、協議を進めています。5 園を集約し、平成 31 年 4 月に(仮称)泉こども園の開設を提案しています。

問 加西こども園への統合に当たり、保護者や地区からの関心・要望事項は、①スモック・体操服の購入、②通園バスの導入、③幼小連携、の 3 点であった。

特に、保護者や地区からも通園バス導入の要望が出ているが、教育委員会は「バスを出さない」との説明を繰り返してきた。一方、泉地区の議論では通園バス導入を検討していると聞いているが、いかがか。

答 泉地区は東西に広く、協議会でバスの可能性を話しています。保護者アンケートの結果を分析し、慎重に考えていきたいと思えます。

意見 泉地区はバス導入を検討し、加西地区はバスを出さないのは筋が通らない。加西地区の議論

では「距離は遠くなるがそれ以上に保護者による送迎が子供たちのために望ましい」と言っている。これに矛盾する。

また、市長は 11 小学校存続を打ち出している以上、幼小交流にも十分な配慮が必要だ。これが「子育て支援の充実」を掲げている加西市なのか非常に疑問。開園まで 3 カ月ある。再度、地区や保護者と話をすべきだ。

■その他の質問項目

- ・ 地区集会施設について
- ・ 地域主体型交通について
- ・ 防犯カメラについて
- ・ 財産管理について
- ・ ホテル建設について

自然災害及び河川の土砂堆積対策について

一般質問



原田 久夫 議員

(21 政会)

気象観測機器の設置状況について

問 災害時の判断には、風速、雨量、河川の水位情報が重要である。兵庫県河川管理システムによって、下里川、万願寺川、普光寺川の水位は県 HP 上でリアルタイムに確認できるが、風速・雨量についてはどうか。

答 河川以外の雨量計は、国と県によって北条地区 2 基、中野地区 1 基が設置されており、10 分単位で情報を確認することができますが、それ以外の地域における、よりきめ細かな雨量の観測環境までは整っていません。

気象観測器の設置計画について

問 昔は何百万円もする高価な総合気象観測器が必要だったが、現在は小型で安価な装置が開発されており、ピンポイントで詳細な状況把握が可能となるため住民にも好評で、県内でも山間部を中心に導入が進んでいる。加西市における設置計画について。

答 現在は、隣接市町の雨量計、気象レーダー、人工衛星、雲のかかり方等から予測して対応していますが、小型気象計の導入状況にも注視しており、前向きに検討していきたいと考えています。

下里川及び万願寺川下流土砂堆積除去について

問 河川内に土砂と樹木の堆積が多く見られる。また、合流地点の水門 2 カ所の排水が慢性的にうまくいかず、少量の雨でも堆積し、豪雨になれば毎年のよう

に周囲の田が 2 町程度浸かってしまう状況である。浚渫工事を含む今後の対策について。

答 9 月に県土木と調査を行った結果、河川内の流水を大きく阻害する樹木は今年度中に、そして、河川内の樹木は、流水を著しく阻害し、倒木・流出した場合に下流の橋梁等に影響を及ぼすため、できるだけ早く撤去したいとの回答を得ています。

一方、水門付近の部分的な浚渫については難しいとの回答があり、今後地元と協働しながら防災対策を講じていきたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・ 自然災害への対策について
 - 平成 28 年の自然災害発生状況について
 - 平成 28 年の災害箇所対応について
 - 防災機関の配備態勢判断基準について
- ・ 河川の土砂堆積対策について
 - 河川の現状と管理状況について